

公共交通アンケート集計結果 (2026年3月)

実施期間：2025年10月～2026年3月
実施方法：オンライン回答

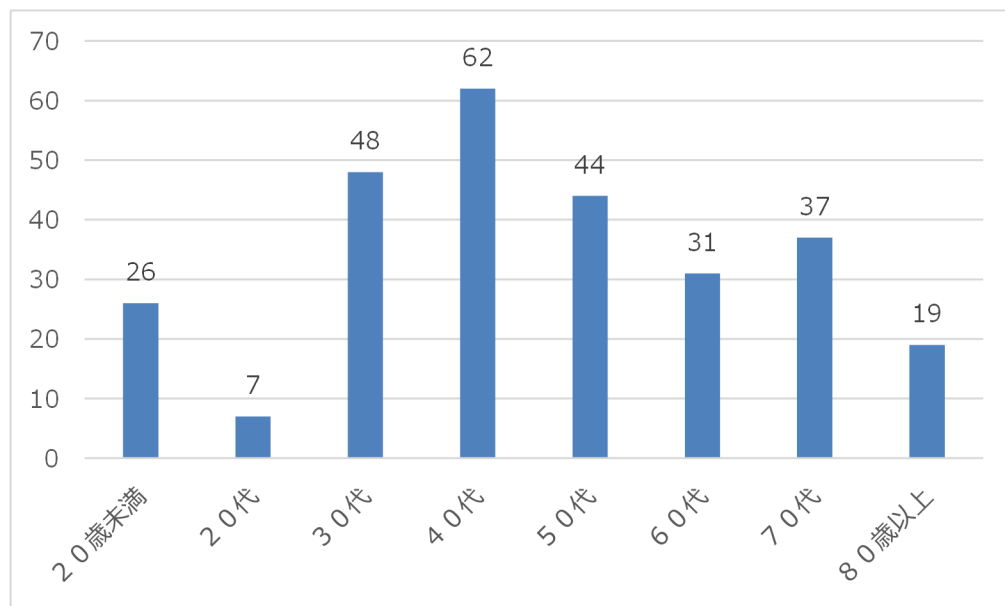
令和8年6月17日（水曜日）
精華町地域公共交通協議会



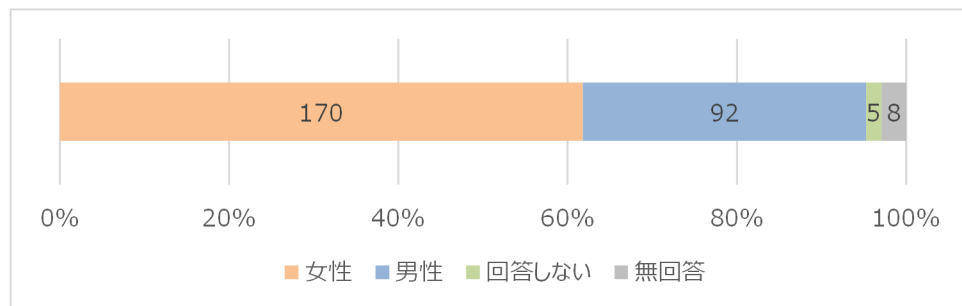


回答者数：275人

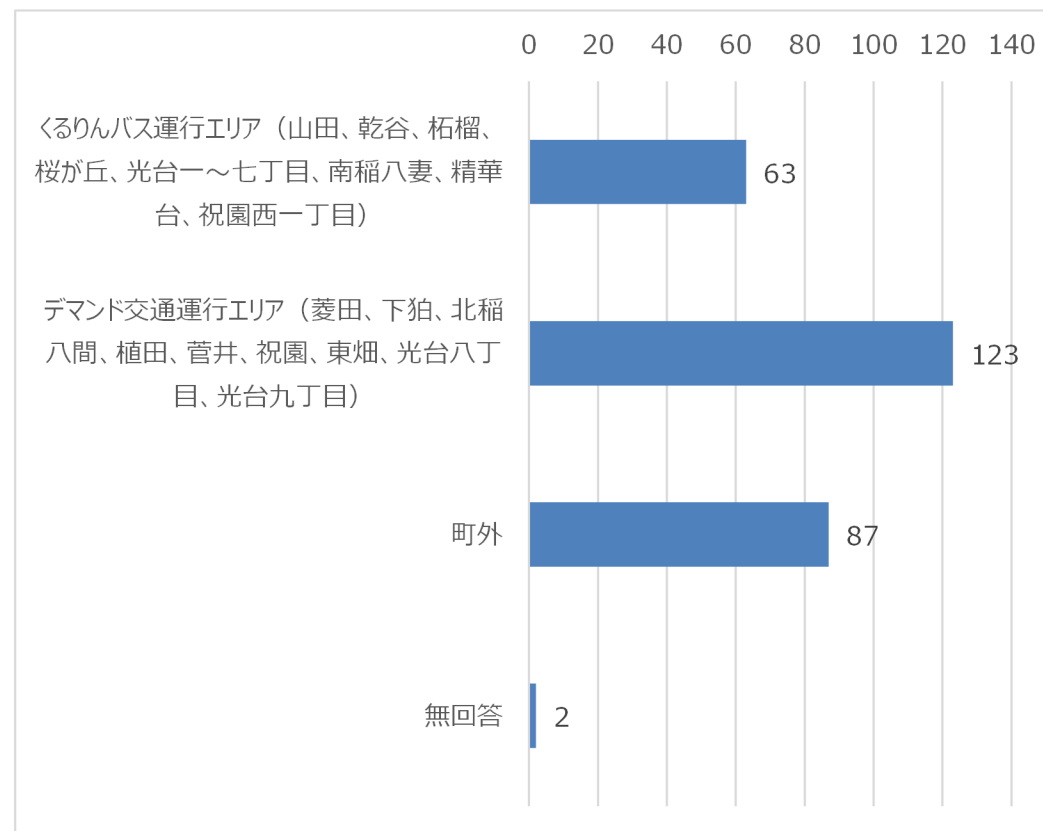
■年齢



■性別



■居住エリア

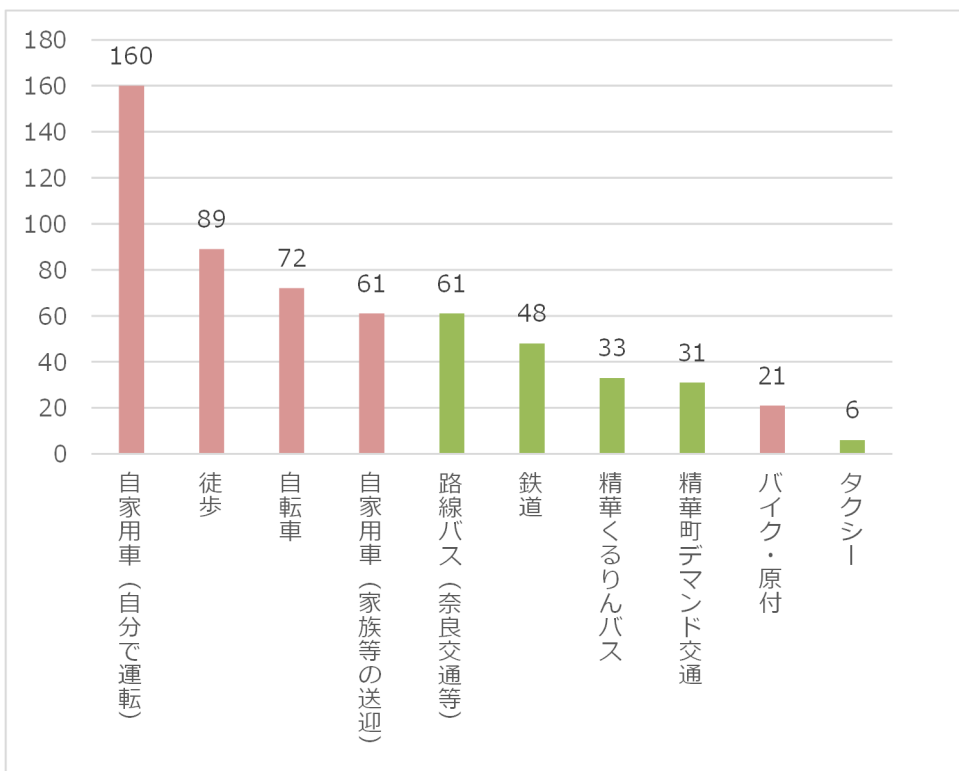


普段の移動手段

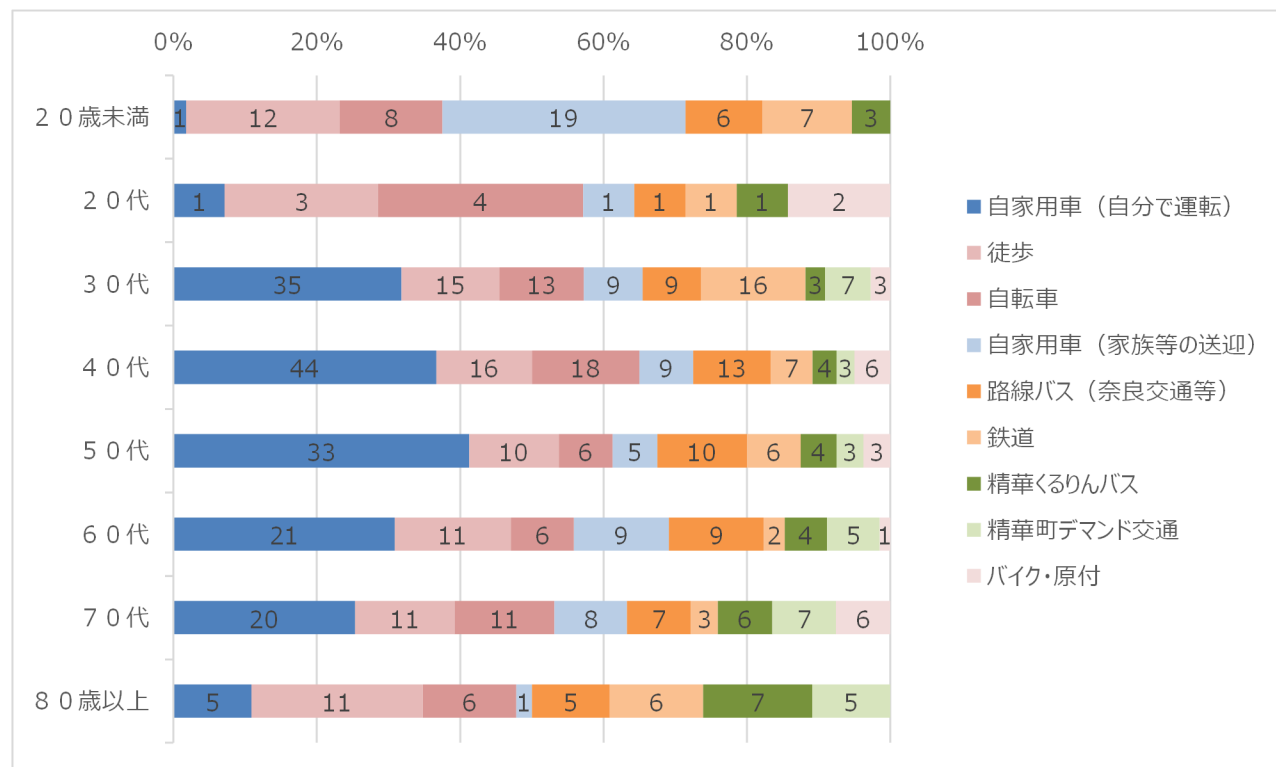


- 普段の移動手段としては、自家用車（自分で運転）が最も多く、くるりんバスやデマンド交通を挙げた回答の割合は小さかった。
- 20歳未満で家族等の送迎の割合が高くなっている。それに対し、80代以上ではバス等の公共交通機関を利用するとした回答の割合が高くなっている。

■ 普段の町内の移動手段【複数回答】



■ 普段の移動手段（年齢別）【複数回答】

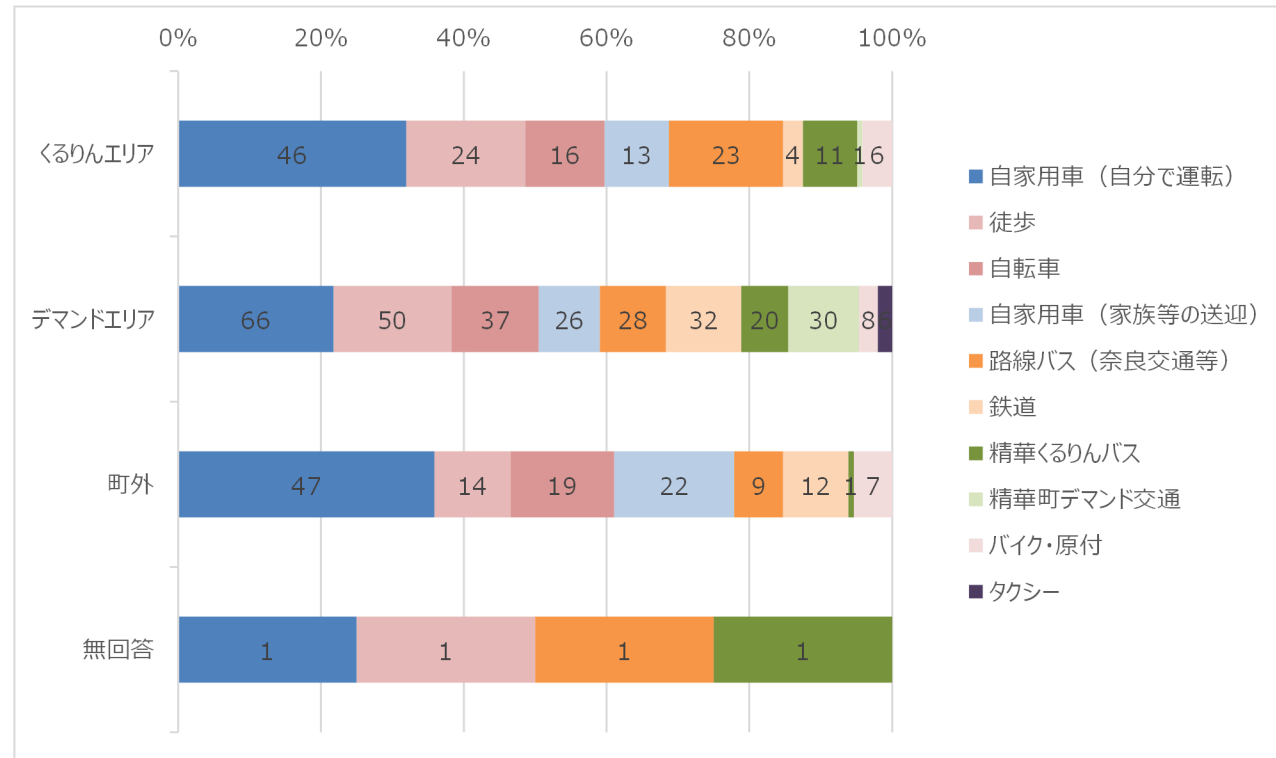


普段の移動手段（居住地別）



- 居住地別にみると、くるりんバス運行エリアでは「自家用車（自分で運転）」及び「路線バス（奈良交通等）」の回答が比較的多い。
- デマンド交通運行エリアでは、くるりんバス運行エリアと比較して「精華町デマンド交通」「鉄道」の利用割合が高くなっており、「精華くるりんバス」も一定の利用がみられる。

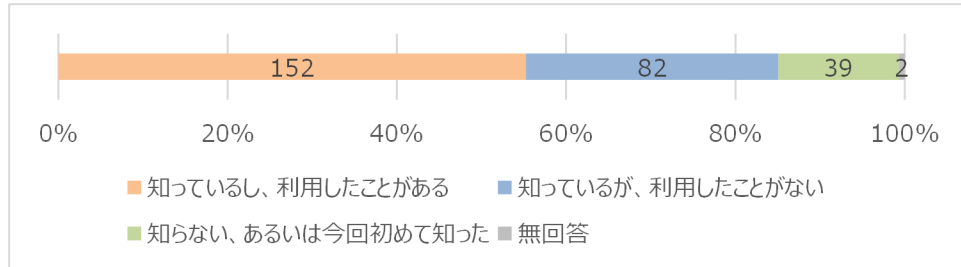
■ 普段の移動手段（居住地別）【複数回答】



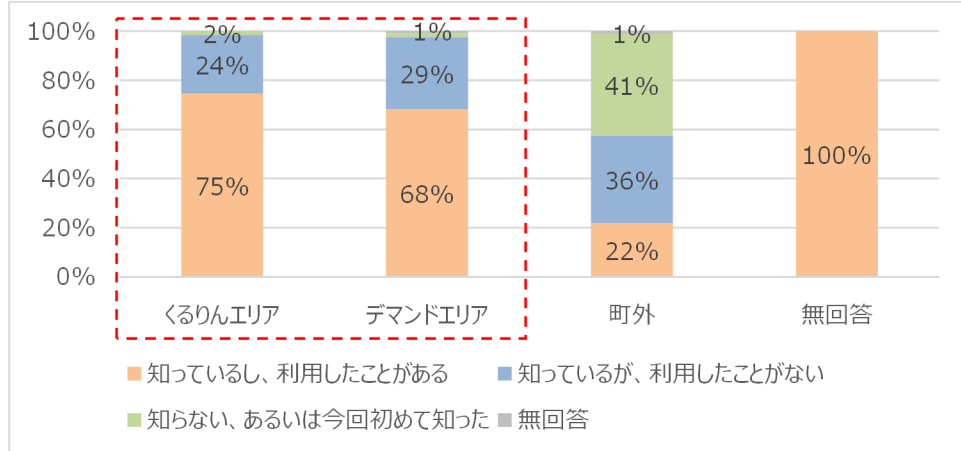


- ・ くるりんバスについて、町内居住者の認知度は90%台後半と非常に高い水準となっている。
- ・ 実際に利用したことがあると回答した人は、くるりんバス運行エリアの方が若干高くなっている。
- ・ くるりんバスを利用したことがない理由としては「他の交通手段（自家用車等）の方が便利」との回答が最も多く、自家用車を利用できるうちは、くるりんバスを利用する必要性を感じていないものと考えられる。
- ・ 運行時間やバス停までの距離といった運行内容に係る理由のほか、「利用方法がわからない」という回答もみられた。

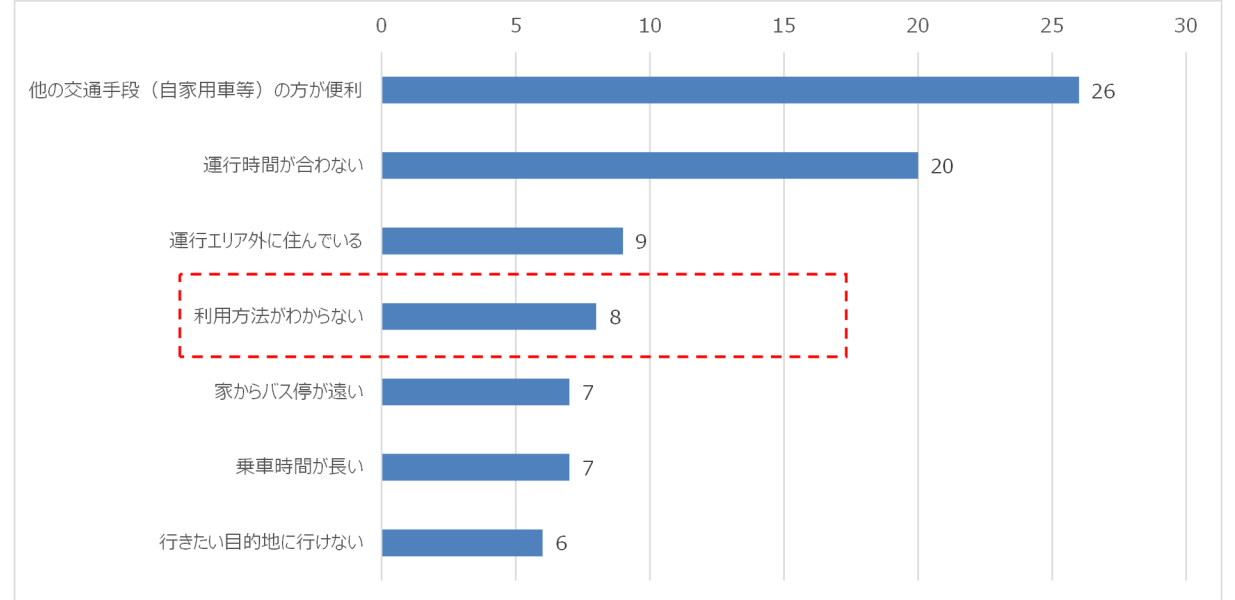
■精華くるりんバスを知っているか



■精華くるりんバスを知っているか（居住地別）



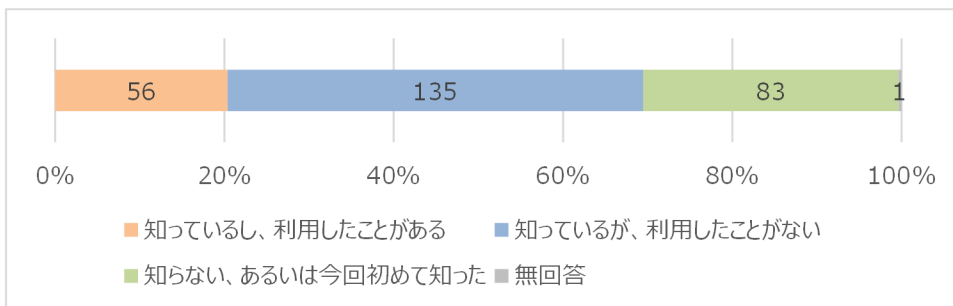
■精華くるりんバスを利用しない理由（町内居住者）【複数回答】



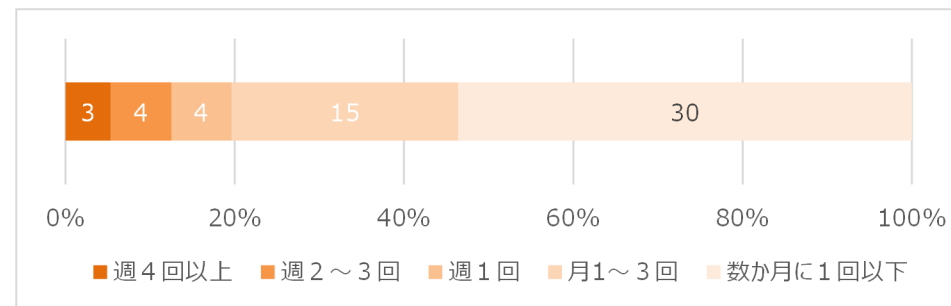


- デマンド交通の認知率はくるりんバス運行エリアで約8割、デマンド交通運行エリアで約9割と高い水準となっている。
- デマンド交通運行エリアで実際に利用したことがあると回答した人は35%となっている。
- 利用目的として最も多かったのは「公共施設の利用」、次いで「買物」となった。

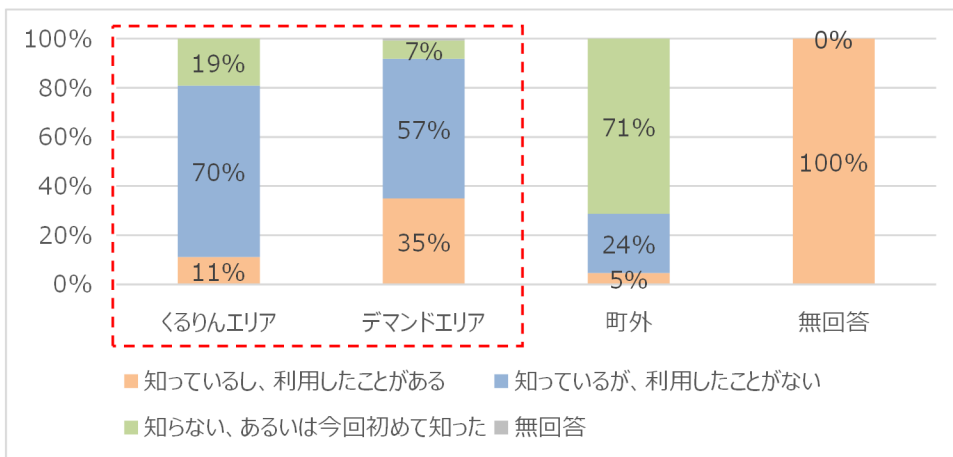
■精華町デマンド交通を知っているか



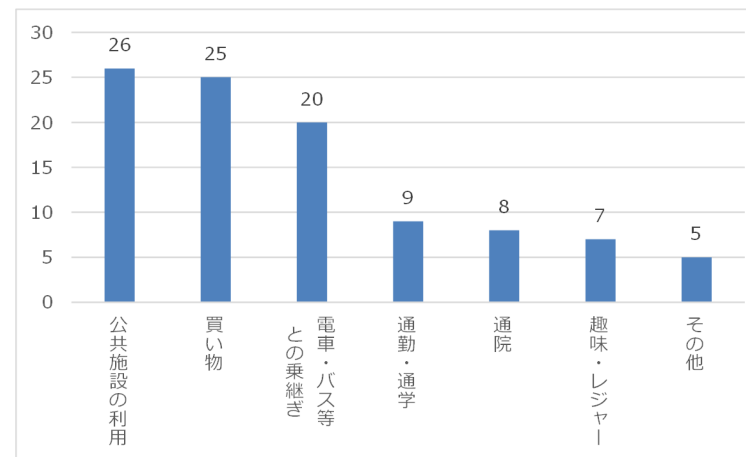
■デマンド交通の利用頻度



■精華町デマンド交通を知っているか（居住地別）



■デマンド交通を利用する目的【複数回答】

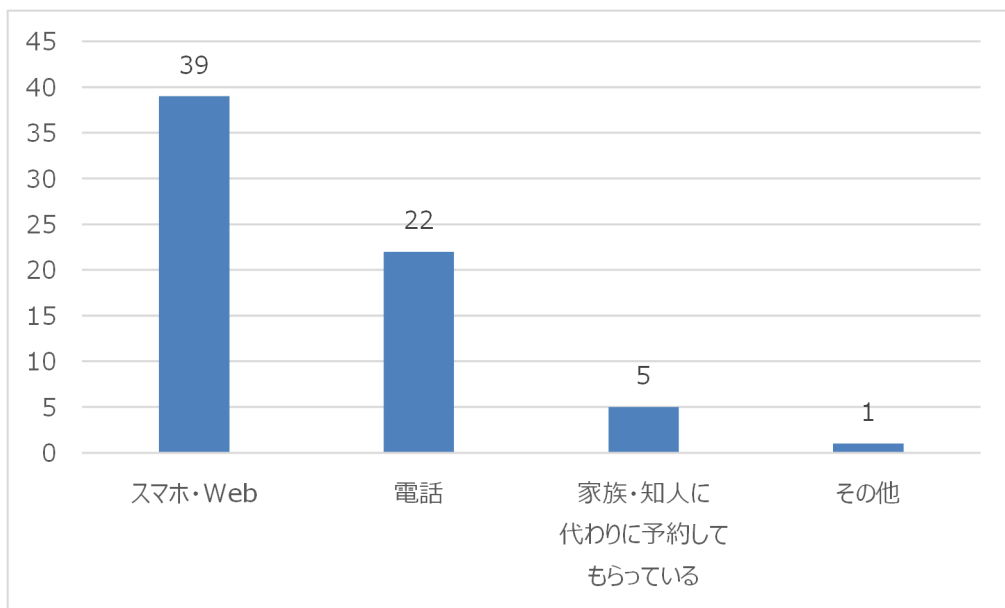


デマンド交通の予約

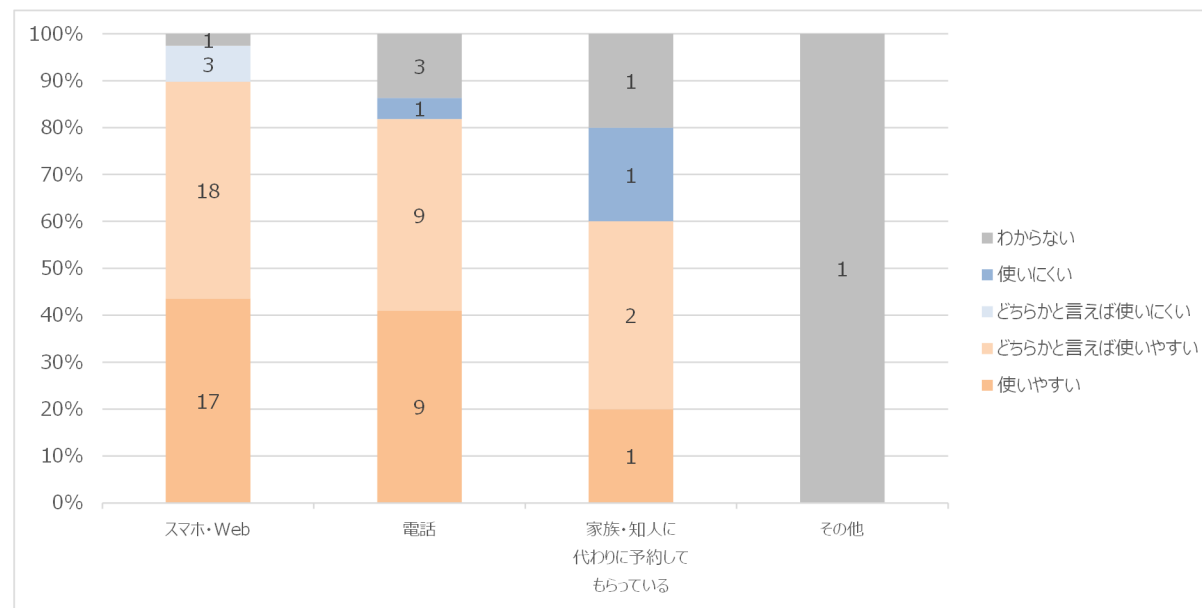


- スマホ・WEBで予約を行っているという回答が最も多かった。（利用実績集計では電話予約割合が高いが、今回はWEBアンケートのためこのような結果になったと考えられる。）
- スマホ・WEB予約利用者の9割が「使いやすい」「どちらかと言えば使いやすい」と回答している。

■精華町デマンド交通の予約方法【複数回答】



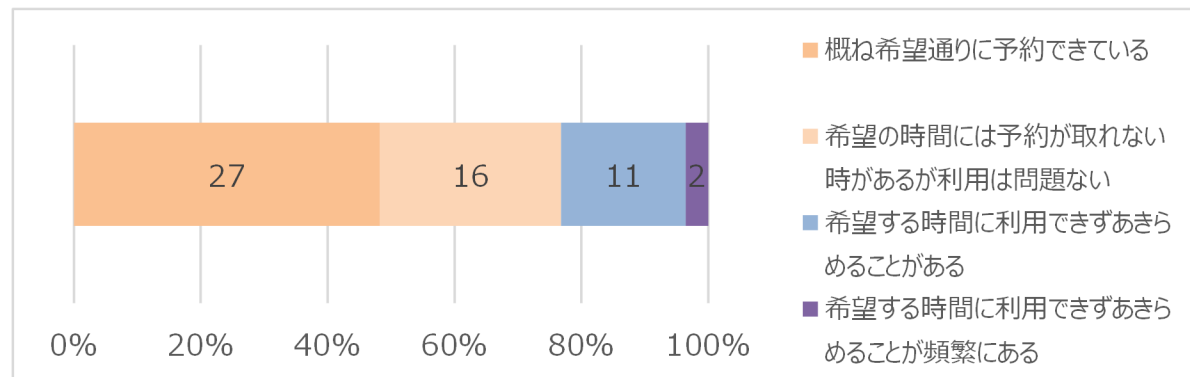
■予約方法の使いやすさ【複数回答ベース】



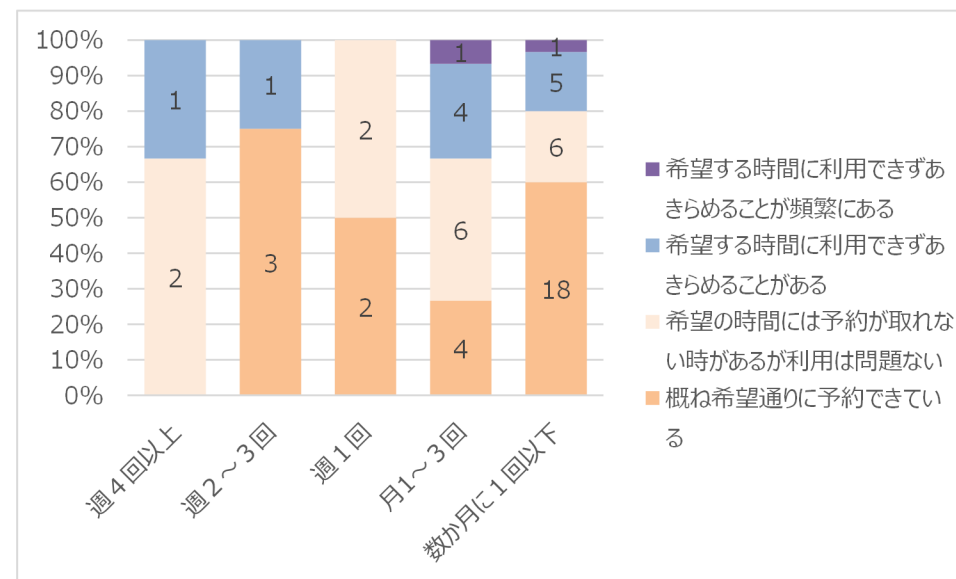


- 「概ね希望通りに予約できている」との回答が最も多い一方で、希望する時間に利用できなかったという意見も2割超に達している。
- 回答数が少ないため正確な傾向を把握するのは難しいものの、利用頻度の低い回答者に「希望する時間に利用できずあきらめることが頻繁にある」との回答がみられたことから、日常的な利用のない人が突発的に予約しようとした際に希望通りに取りづらいという状況が生じている可能性がある。

■希望する時間に予約できているか



■希望する時間に予約できているか（利用頻度別）

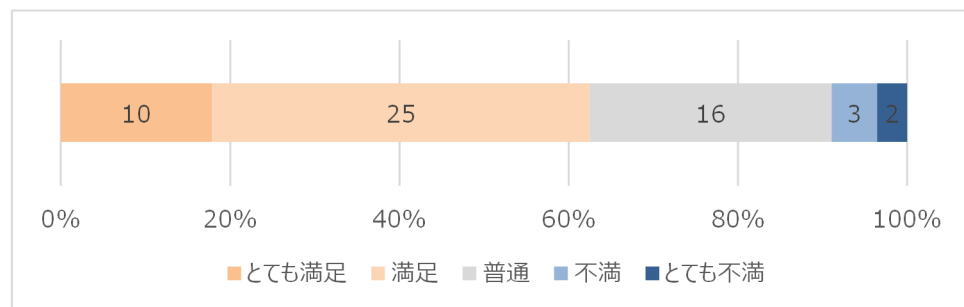


デマンド交通の満足度

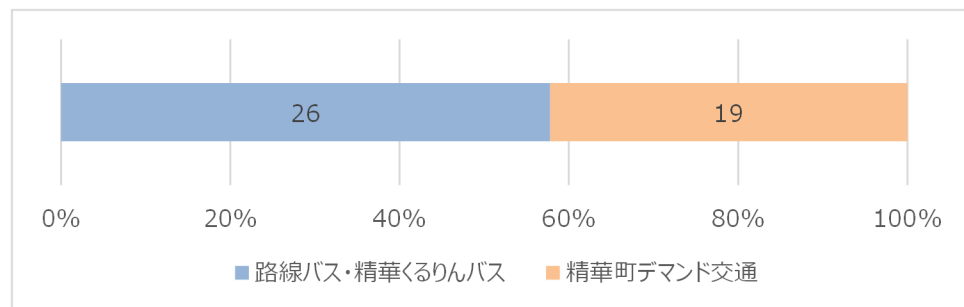


- デマンド交通の満足度は、「とても満足」「満足」との回答が6割強を占めている。
- 利用頻度別では、利用頻度の高い方の満足度が高い一方で、利用頻度が低くなるほど満足度が下がる傾向にある。
- 一方で、「定時定路線の路線バス・精華くるりんバスと予約型の精華町デマンド交通とではどちらが使いやすいですか？」との問いには「路線バス・精華くるりんバス」との回答が多くなっている。

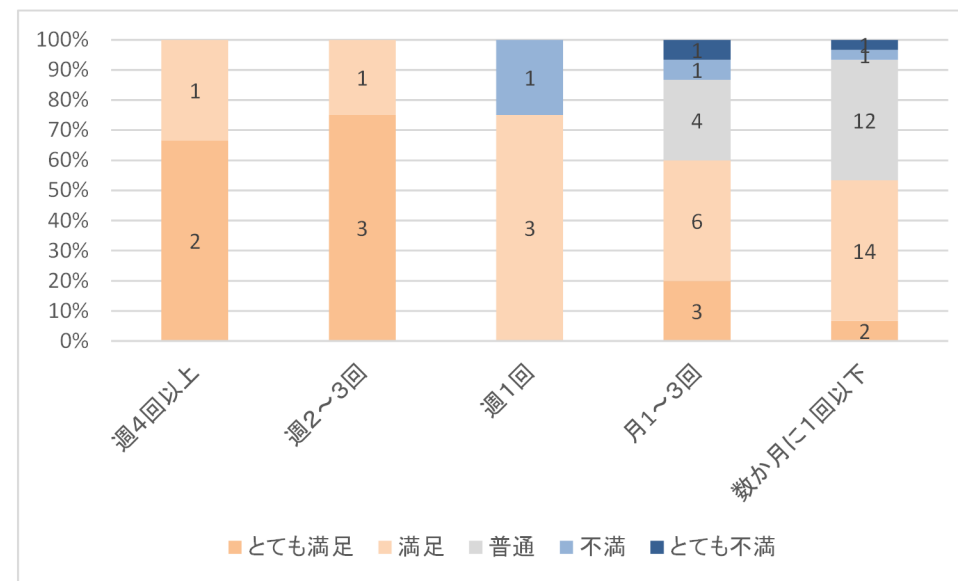
■デマンド交通の満足度



■路線バス・くるりんバスとデマンド交通どちらが使いやすいか



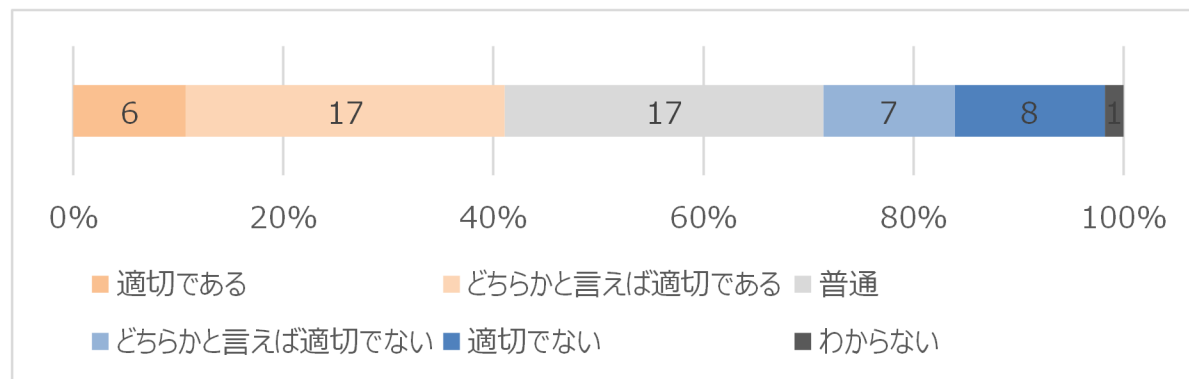
■デマンド交通の満足度（利用頻度別）





- デマンド交通の運行時間については、回答者の約7割が「適切である」～「普通」と回答した。
- 希望する運行時間として最も多かったのが18:00までの運行であり、仕事の終了にあわせた20時までの運行を望むコメントもみられた。

■デマンド交通の運行時間は適切か



希望運行開始時刻

7:00	4人
7:30	1人

希望運行終了時刻

18:00	7人
19:00	2人
20:00	5人

その他ご意見

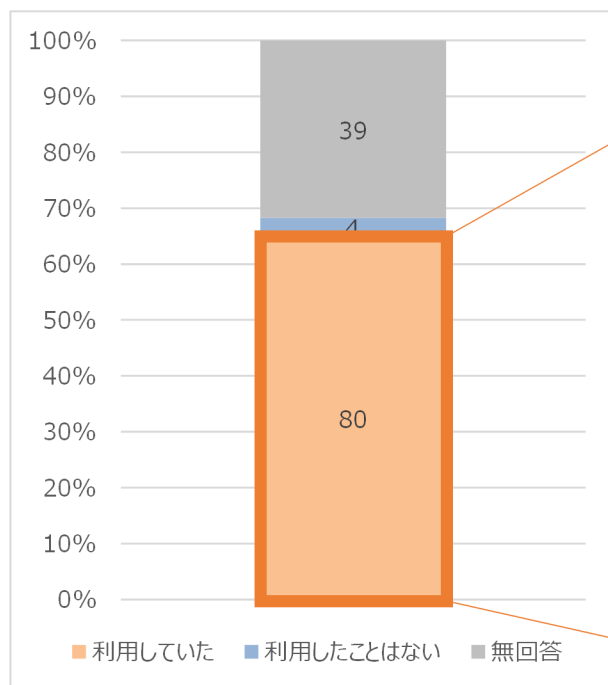
・平日の図書館は18時まで空いているので、最終を18時発、土日は同じ理由で17時発

くるりんバス利用経験者のデマンド交通利用状況

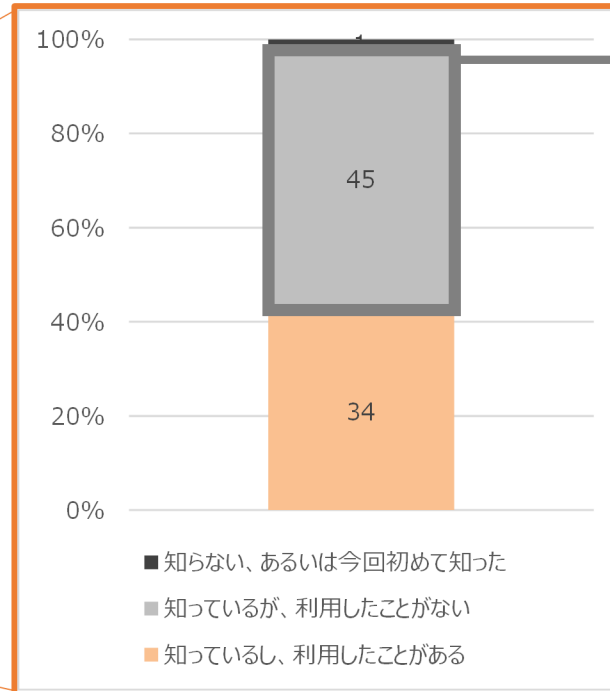


- デマンド交通導入エリア居住の123人の回答者中、デマンド交通導入前にくるりんバスを利用していたと回答したのは80人（65%）であった。
- くるりんバスを利用していたが、デマンド交通を利用していない回答者が挙げた理由としては「予約が面倒」が最も多くなっている。今回のアンケートではくるりんバスの利用頻度が把握できないため、デマンド交通への転換の影響を正確に分析することは難しいが、予約方法の分かりやすい説明や、割引制度等の周知が公共交通利用の促進につながる考えられる。

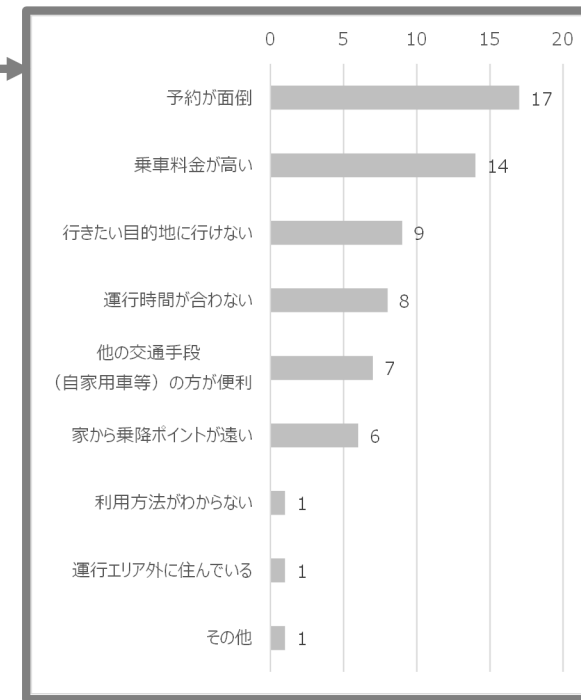
①デマンド交通導入前に
くるりんバスを利用していたか



②デマンド交通を知っているか
・利用したことはあるか



③デマンド交通を利用しない理由【複数回答】



デマンド交通をまだ利用していない人の普段の移動手段

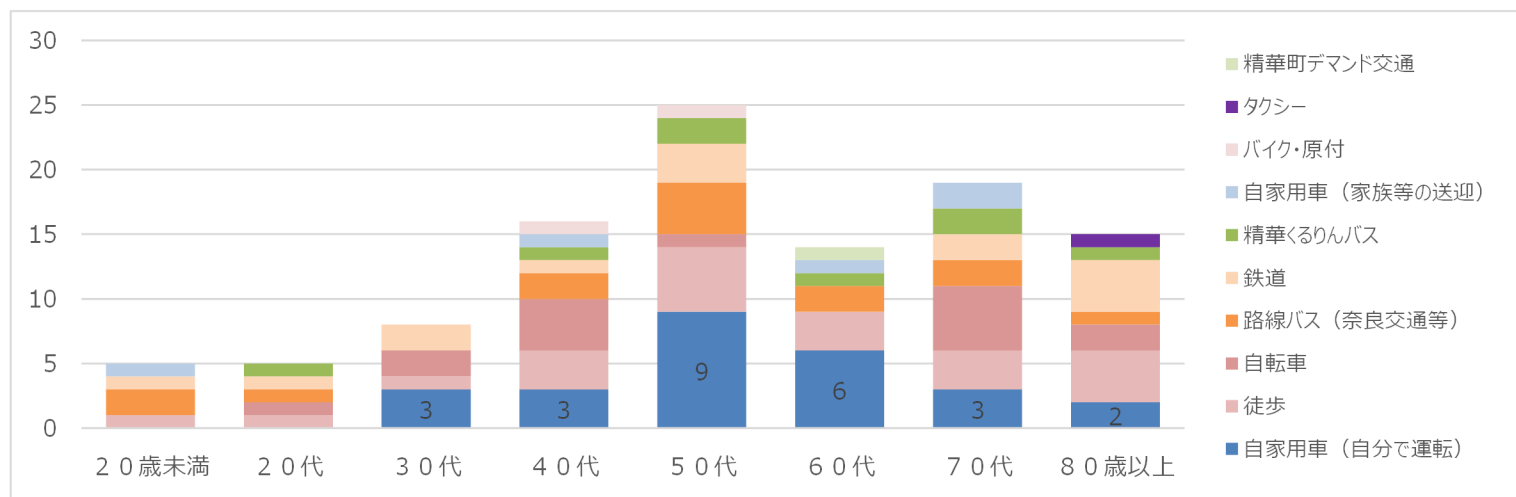
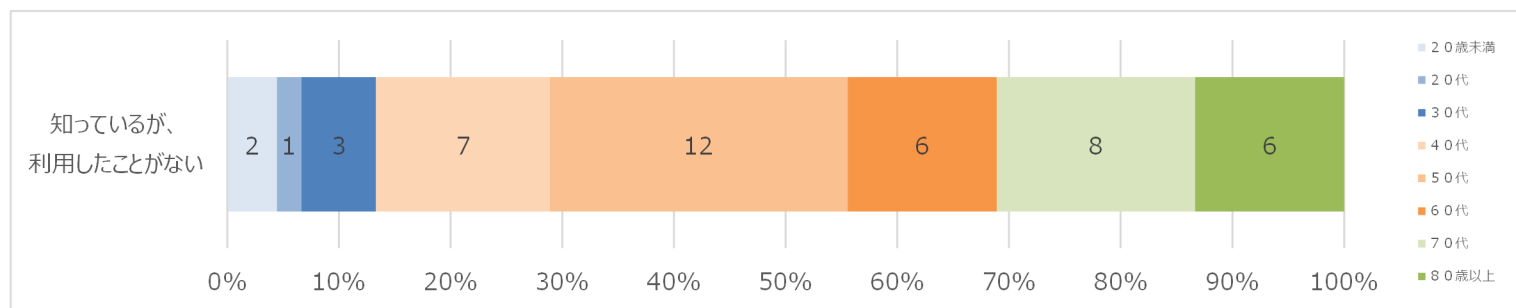


- くるりんバスからデマンド交通に移行していない回答者※について、70代では移動に自転車を使用していると回答した割合が高く、80歳以上では徒歩及び鉄道と回答した割合が高くなっている。
- 特に80歳以上では自家用車を運転する割合が低くなっているが、他の年代でも必ずしも移動手段として自家用車が選択されているとは限らないことから、それぞれの世代に向けた利用促進のアプローチを実施する必要があると考えられる。

■年齢構成

今回のアンケートでは30代～50代が回答者のボリュームゾーンである点に注意が必要

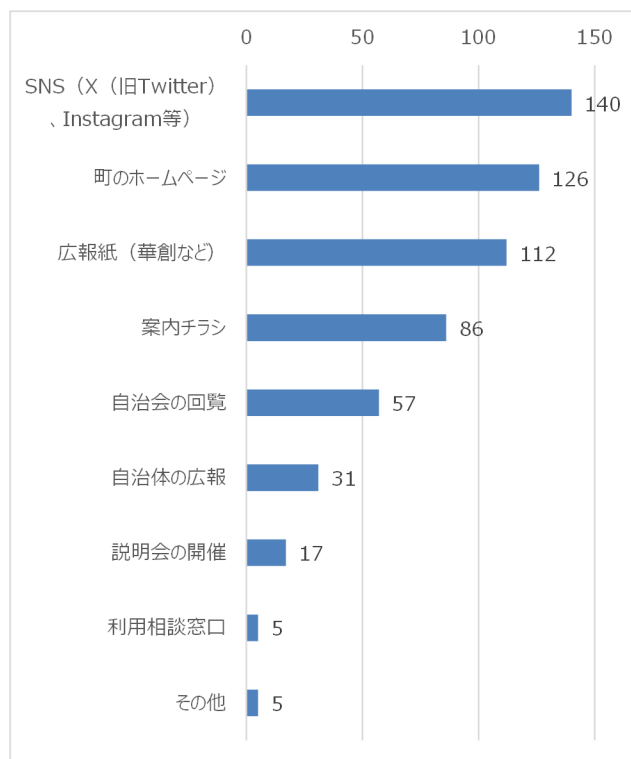
移動手段【複数回答】



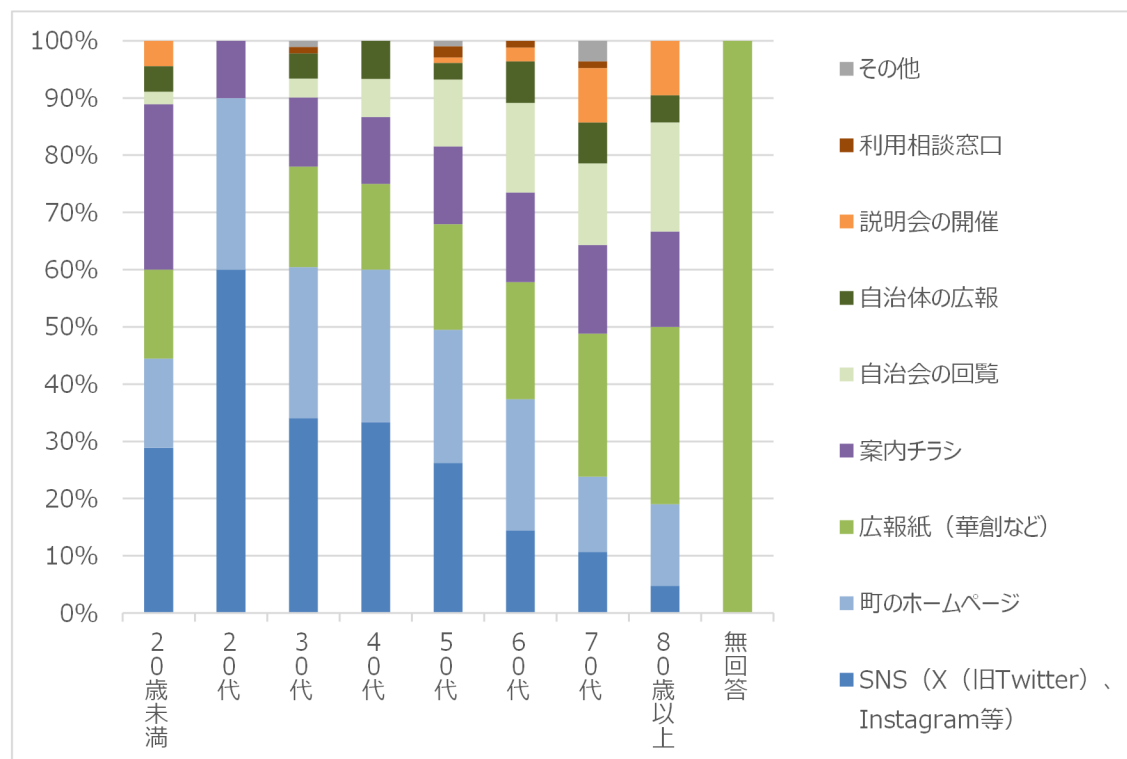


- 情報を得るツールとして最も回答が多かったのは「SNS」、次いで「町のホームページ」であった。
- その他の意見として、乗換案内サービスへの対応やLINE等が挙げられた。
- 20代は「SNS」や「町のホームページ」といったWEBメディアが9割を占めているが、そのほかの年代では「案内チラシ」や「自治会の回覧」といった紙媒体も一定の支持を集めている。
- 特に70以上の層では説明会の開催も1割程度挙げられており、直接説明を受ける機会が求められていると考えられる。

■便利だと思う情報収集手段【複数回答】



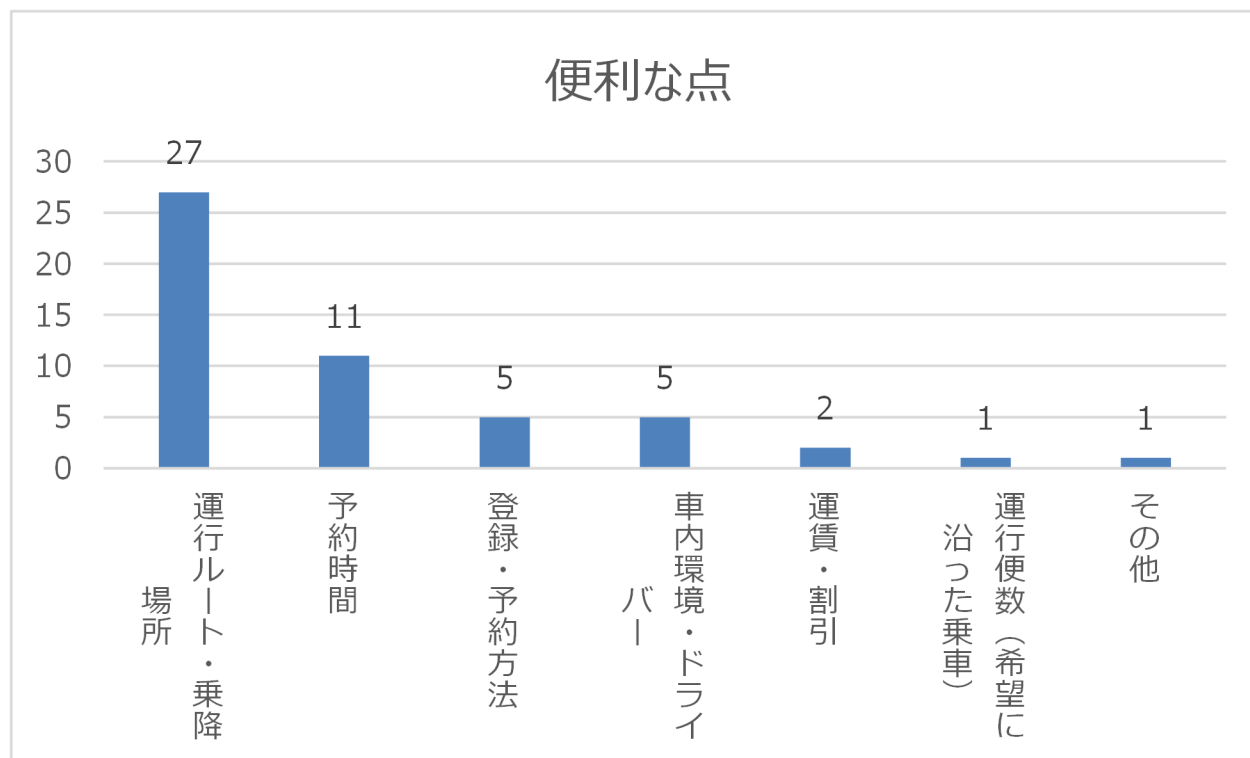
■便利だと思う情報収集手段 (年齢層別) 【複数回答】



デマンド交通を利用する際に便利だと感じる点



- デマンド交通の便利さを感じる点として最も多かったのは「運行ルート・乗降場所」に関する意見であった。具体的には「短時間で目的地まで行ける」「全部の乗降停留所を回らず 目的地に行ける」といった点が挙げられた。
- そのほか、「自分が行きたい時間にあわせられる」「必ず座れる」といったデマンド交通ならではのメリットが挙げられている。



運行ルート・乗降場所

- ・短時間で目的地まで行ける
- ・くるりんバスみたいに全部の乗降停留所を回らず 目的地に行ける
- ・家の近くに乗車ポイントがある

予約時間

- ・出発・到着などの時間に合わせた利用がしやすい
- ・自分が行きたい時間にあわせられる

登録・予約方法

- ・携帯で予約やキャンセルできる点
- ・10件まで予約できるところ

車内環境・ドライバー

- ・ゆったり乗れる
- ・運転手が親切だから

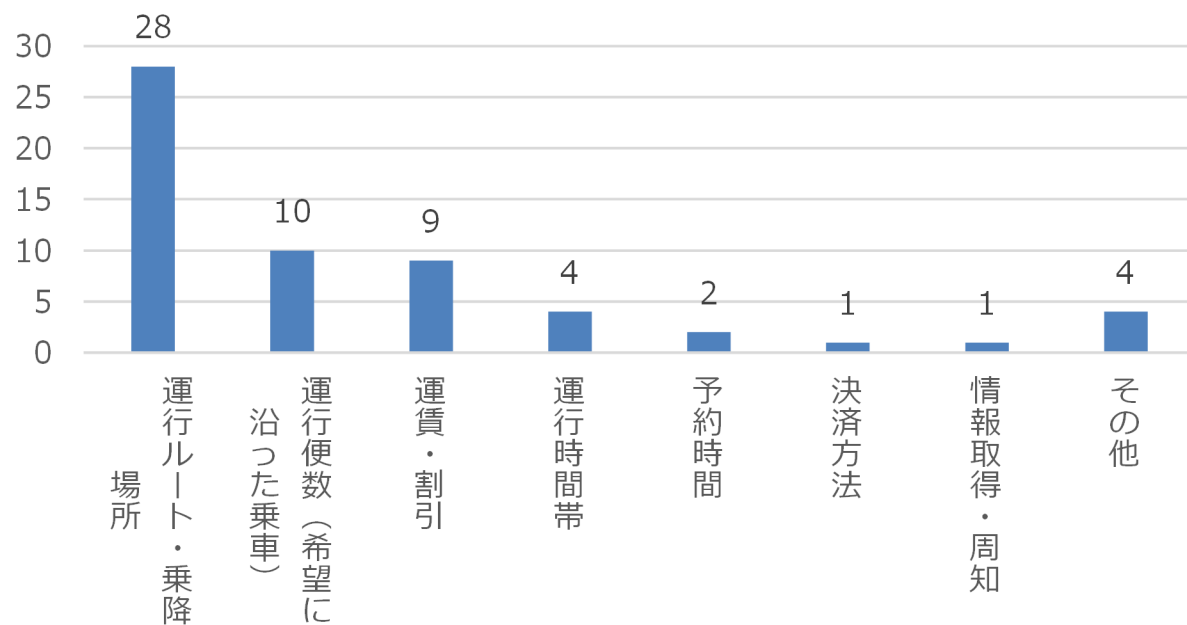
運賃・割引

- ・タクシーや路線バスよりも安く利用ができて助かっている



- デマンド交通について改善してほしい点として最も多かったのは「運行ルート・乗降場所」であり、「乗降場所を増やしてほしい」「エリア分けせず精華町内全域で利用できるようにしてほしい」といった点が挙げられた。
- 次いで「運行便数」「運賃・割引」といった項目が多く挙げられている。乗りたい時間に予約が取れなかったとの意見も複数寄せられていることから、利用タイミングによって不便を感じる利用者が出てきていることが考えられる。

改善してほしい点



運行ルート・乗降場所

- 乗降場所を増やしてほしい
- 集会所までは遠く、歩くのが辛い
- エリア分けせず精華町内全域で利用できるようにしてほしい

予約時間

- 便数をもっと増やして欲しい。必要なときに予約が取れず、諦めることがよくあるので。

運賃・割引

- 料金くるりんバスの3倍は高すぎる

具体的な乗降場所の希望

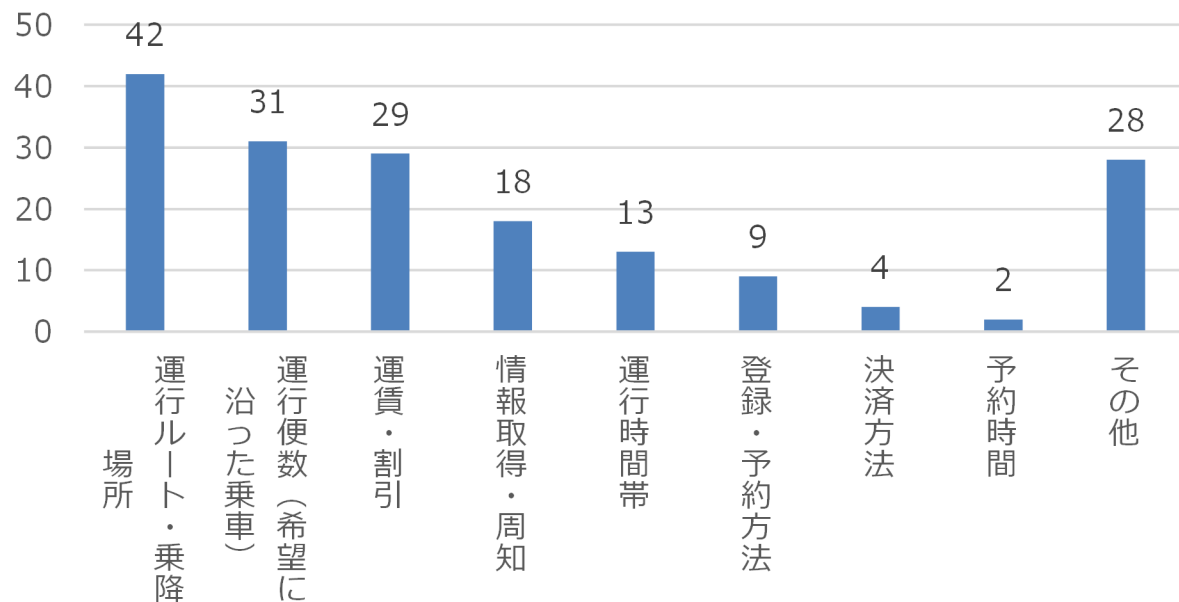
- けいはんなプラザ
- けいはんな記念公園
- 山田川
- 旧わたしの仕事館
- アピタ・コーナン
- 町の集会所（くるりんエリア）

くるりんバス・デマンド交通を利用しやすくなるアイデア



- ・ コミュニティ交通を利用しやすくなるアイデアとして最も多かったのは「運行ルート・予約場所」に関する内容となっている。乗降場所の追加や運行ルート（くるりんバス）の見直しのほか、停留所の環境改善や乗継の利便性の向上等の意見が挙げられている。
- ・ また、コミュニティ交通の利用方法についてもっと周知すべきといった意見や、子供専用便、無人AIバスの導入といったアイデアが寄せられた。

利用しやすくなるアイデア



運行ルート・乗降場所

- ・ 学校・公共機関・病院・コンビニなど雨風がしのげ、トイレに困らない場所に停留所をつくれませんか？

運行便数

- ・ くるりんバス、1時間に1本本数を増やしてほしい。本数増えるなら200円でも良い。

運賃・割引

- ・ 町内と町外の人で利用料金を分けてほしいです。

情報取得・周知

- ・ 実際に利用している方の体験談を教えてください。使ってみたい気持ちもありますが、使ってもいいのだろうか？という気持ちもあり、町としてどう維持したいのかも知りたいです。
- ・ バス停のデザインをもっと近代的にして誰でも道路から目に留まるようになれば良いと思います。おしゃれなデザインだと若者もよく利用するかも。



- ・ 利用しやすくなるアイデアにも、具体的なルート・乗降場所の希望が寄せられている。
- ・ その他のアイデアとして、バス停の具体的な位置を分かりやすく周知することや、バスの中を魅力的な環境にする、継続的に利用方法の周知活動を行ってほしいといったアイデアが挙げられている。

■ルート・乗降場所の具体的希望

デマンド

病院
南稲八妻
光台四丁目のバス停と八丁目のバス停の間
学校（夏季）

くるりん

病院
北ルート（狛田、菱田、滝の鼻）
東畑
光台八丁目、九丁目

再
転
換
を
希
望

く
る
り
ん
バ
ス
へ

不明・その他

住宅街の中の公園など

■その他の具体的なアイデア（抜粋）

バスの中に色々な仕掛けを作ってみてお客さんが楽しめるようなデザインにしたいと思います
ICOCAなどの電子マネーが使える
ネットで各駅の地図を公開して欲しい ※バス停の具体的な位置が分かりづらいという意見が複数寄せられている
試しやすいキャンペーンがあるといい
電車乗り継ぎのアプリにデマンドの時刻も掲載されるようにしてほしい
いっそのこと、くるりんバスもデマンド交通も廃止して、浮いた経費で子育て支援施策を充実させるべき
毎月の華創に下記の内容を掲載し続けていただければありがたいです ・デマンドバスの予約方法 ・くるりんバスの時刻表
無人AIバスの導入
乗車時間の他人へ気を使う時間や退屈をしない様に、車内でテレビや映画の放映、ハワイアンミュージックを流しながらの運行で癒し空間、癒し移動の提供

自由記述における相反する意見について（運賃）



- 運賃については、高い、値下げしてほしいという意見がある一方で、妥当・割安に感じているという意見、存続してもらうのが一番であり運賃設定に一定の理解を示すといった意見も寄せられた。
- 特にデマンド交通の運賃については、現在も100円で運行しているくるりんバスとの比較で不満を持つ利用者が多くなっている。（例えば現在祝園駅から光台八丁目までの路線バス運賃は370円）
- 導入している回数券のような割引制度による利用促進のほか、町内全体の公共交通運賃とのバランスを考慮した運賃設定と利用者の理解促進が必要と考えられる。

運賃に手頃感を持っている意見

タクシーや路線バスより
安く利用ができて
助かっている

運賃が安すぎないか
500円くらいでも
よいのでは？



運賃の値下げを求める意見

続けて欲しいのが一番
できれば300円を
200円にして欲しい

料金くるりんバスの
3倍は高すぎる

100円で乗れた
くるりんバスを
復活してほしい

利用料金をもっと下げて
ほしい（元の料金に）



自由記述における相反する意見について（運行形態）



- 自由意見においては、デマンド交通の運行ルート・乗降場所及び予約時間の柔軟さについての好意的な意見と、予約をせずに利用でき乗継なしに町内を巡回する旧くるりんバスのメリットを重視する意見の双方が寄せられた。
- 予約の可否と運行（ルート・時間）の柔軟性はトレードオフの関係にあることから、柔軟性を維持しつつ予約の不満を減らす対策（予約方法の分かりやすさ、できるだけ希望に合った予約を取ることができる環境づくり等）が必要となる。
- また、運賃と同様に利便性（運行エリアや乗降場所の柔軟性）についても既存公共交通機関の持続可能性にも配慮した設定が必要となることから、地域公共交通計画の策定等を通じた最適なモビリティミックスの姿の提示や一定の不便さに対する理解を丁寧に求めていくことも重要と考えられる。
- 主に集会所に置かれている地域の乗降場所については、従来のくるりんバスのバス停の方が近かった利用者也存在していることから、全体に利便性が高まる場合には、地域との対話により乗降場所の見直しや追加を検討すべきと考えられる。

	便利になったと感じている意見	不便になったと感じている意見
運行ルート	・くるりんバスみたいに全部の乗降停留所を回らず目的地に行ける ・くるりんバスより駅まで早く到着する	・デマンドバスで、祝園地区から精華台の商業施設に直接行けるようにして欲しい
乗降場所	・乗車場所が近くにある ・雨降っていてもバス停まで歩かず目の前から乗れる	・くるりんバスの停留所を全て使って欲しい。集会所までは遠く、歩くのが辛い
予約	・自由に時間を指定できる ・前もって予約できる	・予約なしで時刻が決まってるほうが、その時間に合わせて行動出来る ・デマンドバスは、その度毎に連絡しなくてはならない ・子連れはデマンド交通の時間を予約しても遅れる場合がある。くるりんなら、次のバスを待つことができるが、デマンドでは時間の融通がきかない